

参加チーム及び競技役員 各位

第 37 回全日本学生ライフセービング選手権大会

実行委員会

新型コロナウイルス感染症における予防対策について

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者（競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員）は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン<オーシャン競技編>】を必ず熟読し、それらを確実に遵守することが求められます。ガイドラインに則り、以下の運用を行う予定です。具体的な運用については、詳細が決まり次第お知らせいたします。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

- 競技会前 14 日間における体調管理の記録を各自で付けておくこと（記録の提出は求めない）。
- 本競技会では、チーム帯同者などの人数制限は行わない。ただし、各チームにおいて感染対策を徹底すること。
- 参加者全員、新型コロナウイルスのウイルス検査を事前に実施し、来場前 72 時間以内の結果が陰性であることを確認すること。
- 競技会当日、必ず事前に受付を済ませること。その際に以下のことをチェックする。
 - ▶ 体温チェック（検温器や体温計は主催者にて準備する）。
 - ▶ 事前のウイルス検査結果を提示すること（来場前 72 時間以内の結果を基本とする）。
- 競技会場内には、体調チェックをクリアした者のみ入場を認める。この為、受付時に印（リストバンド、等）を配布する予定である。
- 会場のあらゆるところに手指消毒剤を設置する。
 - ▶ 会場出入り口、マーシャルテント、レコーダーテント、スタッフ控えテント及び通路、などに適宜配置する。
- 競技エリア外における応援等にあつては、以下を守ること。
 - ▶ 密集・密接とならないように利用する。
 - ▶ 大きな声での応援、大きな音の出る鳴り物の使用は禁止とする。
 - ▶ 応援は拍手のみとする。
- 招集について。
 - ▶ マーシャルテントには、関係競技役員と出場する競技者以外は立ち入らないこと。
 - ▶ レース直前までマスクを着用し、自身のレース直前にマスクを外し、外したマスクは袋や衣類ポケット等に収納すること。
- 各チームにおける待機テントをなるべく多くし、密集や密接を避ける工夫をすること。また、昼食など食事の際には「黙食」を徹底し、食事をとっている者とは最低 1m 以上の距離をとること。
- 無観客での実施とするため、インターネットや SNS を活用したライブ配信を行う（予定）。
- 公式掲示板は設置せず、Web 上に掲載する。

- 代表者会議は競技会の前日夜に、オンライン会議方式にて実施する（予定）。
- 式典（開会式・表彰式・閉会式）は当日に実施しない場合がある。